

## 善徳寺だより 221号



炎上

SNS を使って自分の考えを発信して、逆に多くの批判を浴びるということを「炎上」といいます。気楽に投稿できることからか、非常識な発言が多いように思います。

今の世の中、「モノ申す」人が多くなりました。それが行き過ぎると「クレマー」といわれます。有益な苦情なら改善を見込めますが、独りよがりなもの、重箱の隅をつつくようなものだと、「疲弊」を呼び起こします。

これによって、今あらゆる組織が、過剰な「事なかれ主義」に追いやられています。リスクを負うくらいなら、しない方が良い。高い理念を持っていたとしても、だんだんとそのモチベーションは低下します。

一番問題なのは、「モノ申す人」が、正しいと思っていることです。相手のことが見えなくなっているのです。しかし、このことは、すべての人が陥る可能性があります。

なぜなら、私たちは基本的に「自分の都合」で生きているからです。何とか自分の都合に合うように画策し、いざ自分の都合が悪くなると、つまらぬことを口にし始めます。決して、そこには「清らかさ」はありません。炎上、争いを招くだけです。

仏様のお話を聴くと「本当の自分の姿」を見ることが出来ます。その姿を変えることは中々難しいけれども、「おかげさま」というまるで別の世界が、見え始めるはずですよ。



## 善徳寺にハワイの風が吹いた

8月末、2日間に渡って求道会法座が行われました。二日目昼席では、昨年より往生された4名の会員を偲びながら、追悼法要を行いました。

今回のご講師は、安芸太田町正覚寺の清胤祐子先生。紙芝居などを使い、初めての方でもわかりやすいお取次ぎをしてくださいました。



また、一日目の夜席には「ハワイアンナイト」を雨のため、本堂内で開催しました。



出演は、伊藤紅女先生&ナーメ ア フラオカ プアメリアの皆様で、3回目の登場です。近くで見ると、細やかな動きに気を使っておられるのがよく分かりました。また、少し踊ってくださったのですが、紅女先生の踊りは、別格でした。美しかった…。

お参りくださった皆様、早くから汗をかきながら準備くださった求道会役員の皆様、ありがとうございました。



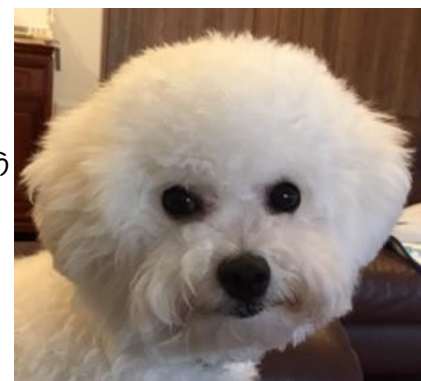
## 今月のさくらさん

もっかの悩みは、よく吠えること。それには、警戒、要求、怒り、甘えなど、色々な意味があるようです。特に部屋を出る際には、「一緒に外に出せ」と必ずといってよいほどなので、少しうんざりしています。

でも最近、「さくら」の表情が分かるようになってきました。機嫌のよい顔、笑っている顔、怒っている顔、甘えている顔、犬にも表情があるのですね。

また、「さくら」を撫でてしていると落ち着きます。これは科学的根拠があって、「オキシトシン」という落ち着きのホルモンが出ているそうですよ。お子さんをゆったり撫でると、お子さんにもこれが出て、安心するようです。

ちなみに写真は、「なんだこれ？」の顔です。





## 深川組仏教婦人会連盟大会 無事終了

9月6、7日と、善徳寺を会所に「深川組仏教婦人会連盟大会」が開催されました。この大会は、10年に1回、回ってくる大きな行事です。近隣10ヶ寺の門信徒のみなさんが、たくさんに熱心に参拝、聴聞されました。

ご講師は、熊本県芦北郡覚應寺の葦原理江さん。高座での、「節談説教」をされる先生であり、また、近年はあの二階堂和美さんが歌う「あなたがいるからあったかい」の作詞をしたことでも有名な方です。腹の座った方で、「古典説教」は、迫力がありません。また、「自分の都合でしか生きられない

私は、どこまで行っても変えられない。だから阿弥陀様は、働きかけておってください」。要の部分をとくどくとお話しくさしました。

また、善徳寺幼稚園年中組のみなさんも歌を披露。可愛らしい歌声に、堂内があたたかい雰囲気になりました。特に「ののさま」で、首をかしげるしぐさに、心打たれた方が多かった模様でした。100名をゆうに超える人たちを前に、臆することなくステージを勤めてくれた年中組さん、ありがとうございました。

さらにこれに先立ち、「菜の花の会」メンバーは、音楽法要に臨みました。初めての試みでしたが、練習の成果を発揮されていました。自分でいうのもなんですが、良かったのではないのでしょうか？どうでした？

献灯・献花には、子どもから大人までバランスよく参加くださりました。緊張した子どもの様子に堂内が笑顔に包まれる場面もありましたが、「子どもから大人が集うお寺」である善徳寺らしさが、醸し出されていたように思います。

善徳寺仏教婦人会の役員さんが、事前に仕上げた落雁を阿弥陀様の御前にお供えてきたのも感慨深いものがありました。綺麗な色のコントラストに、多くの方が関心を持っておられました。



今回の行事に際しては、総代会・求道会も全面協力をくださいました。暑い戸外で、駐車場整理、また、事前の準備に取り組んでくださいました。また、門信徒のみなさんに事前の清掃への参加を呼び掛けたところ、数名が新たに参加くださいました。最後に、仏教婦人会のみなさんには、早くからの準備、当日の運営など、汗をかいていただきました。皆様、本当にありがとうございました。

今回の目標は、「みんなで聴聞!」でしたが、これが実現できたのが一番の喜びでした。普段の善徳寺の大切にしている姿勢を披露できたのではないかと思います。

来年は、いよいよ深川組最大の行事「法中大会」が、善徳寺で開催されます。この行事に向けて、年明けより本堂の工事に入ります。善徳寺門信徒のみなさんのご協力を再びよろしくお願い申し上げます。

### 報恩講法座のご案内

11月28日(木) 昼席・夜席

11月29日(金) 朝席・昼席

ご講師 福間義朝先生



聴聞してください

次号で詳しくご案内いたします。

### 真宗崇徳教社法中大会

11月9日(土) 昼席・夜席

11月10日(日) 朝席・昼席

ご講師 東光爾英先生

(大分教区大海組徳應寺)

会所 馬木 安楽寺

来年度は、10月31日、11月1日に

善徳寺にて勤修されます。

### 教養について

ノーベル賞をとる事が、何が人間としての価値と関係が有るのでしょうか。私は、決して馬鹿ではないのに人生に迷って途方に困っている人の方が好きですし、教養ある人とも思われます。

教養とは、生活秩序に関する精練された生きた智慧を言うのでしょうか。

「人生の鍛錬」小林秀雄の言葉より

子ども本願寺団体参拝に、善徳寺からたくさん的小学生が参加してくださいました。大変に暑い中でしたが、二日間の日程を無事終了。全員、本願寺にて帰敬式を受けて、「法名」をいただきました。終了後は、祇園花月に足を運び、「吉本新喜劇」を鑑賞しました。疲れたけど楽しかった模様。ありがとう!

近年、生前に本願寺にて「法名」をいただく方が、増えています。事前の申し込み等いたしますので、お寺にご相談ください。



### ご報告と御礼

総代会の方で、旗ポール、水銀灯修繕、山門電灯を直していただきました。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。特にポールは、以前より土台から少し傾いており心配しておりましたが、土台からしっかり作っていただいたので安心です。また、山門電灯も明るくなり、暗くなった際、安心してみなさんをお迎えできます。

また、雨の際にドロドロになり、参拝者の足元を汚してきた境内駐車場。この度、お寺の方で舗装いたしました。芝生の部分も、残しまして、幼稚園の子どもたちが、虫取りをはじめとした遊びに興じられるように考慮しております。普段は、交通の関係で閉じて居りますが、行事の際には開放しておりますので、どうぞご利用ください。



善徳寺・幼稚園のホームページを「安佐北区 善徳寺」で検索してみてください!幼稚園の様子も満載です。